

# 愛に生き

# 真に生き

# 美に生きる

深川市立一已中学校 学校だより 11/18

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341 FAX：0164-22-3653

<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichiyan-jh/index.html>

## これからの学校の姿は？

校長 坂本 征人

私が新採教員として赴任した当時は、学級便りや授業で使う教材は手書き、テストはワープロ、成績処理は電卓が手放せませんでした。（諸先輩だどがり版印刷とそろばんでしょうか）今私は、パソコンに向かってワープロソフトを使い、この原稿を書いています。数十年前までは、手書きで原稿を作成した後修正ペンを使い、何度も推敲、修正したものです。パソコンの普及でその作業ははるかに楽になり効率的になりました。キーボードを押せば即座に漢字に変換してくれますし、修正も簡単です。

スマホやパソコンの普及、情報化や科学技術の急速な進展で社会は急激に大きく変化を遂げています。それに伴って、教育環境もまた変化してきました。今や、パソコンを使うのは日常となり、全国の学校ではICT利活用が推進されています。確かにタブレットやパソコン等のICT機器を活用した授業は、子どもの興味関心を高め、より確かに学習内容を身につけることができると思います。

授業でICTを活用するのは、あくまでも子どもの学びを確実にするための手段であり、それ自体を使用することが目的ではありません。ICT機器の進歩により教科書や教材もデジタル化の方向にありますが、その特性を十分に理解して学校教育に活用すればはるかに学習効果を挙げるができるでしょう。バーチャルの世界も簡単に体験できるようになり、ますます映像、動画を駆使した授業が見られるようになることが推測できます。（アバターを動かしてメタバースで学んでいるかもしれません）

しかし、バーチャルばかりでは、教育は危ういのではないのでしょうか。授業で、実際に川の生き物や虫を採集し、飼育したり観察をしたりする。望遠鏡をのぞいて天体観察をして四季の星空に触れる。歴史的な建造物を実際に見たり、美術作品を見たり…。「本物」を見たり触れたりして実体験をすることは、子どもの持つ五感をとおした感覚が磨かれていき理解につながると考えるのです。

教育の本質は、人を育てることにあります。コンピュータでは代替できない感性や創造性、志を育むのは人です。人は人によって育っていくものです。デジタル感覚のみに陥ることなく、アナログ感覚を大切にしつつ、ICT利活用による学びの創造で子どもたちを育てていきたいと考えています。

## どさんこ子ども地区会議（空知地区）

空知管内の小中高の児童生徒が、テーマ「いじめのない学校を目指して」について、オンラインで意見交流をしました。本校は生徒会から2名が参加しました。他校の中学生や高校生と一緒に話し合いをするのは、とてもよい経験になりました。



## 2年宿泊研修（札幌）

2年生の宿泊研修が行われました。北海道の中心地である札幌市内で、グループ別自主研修と専門学校訪問を行いました。写真は大倉山展望台です。数日後に行われるスキージャンプ大会に向けて練習する日本のトップ選手を見ることができました。ものすごい迫力がありました。



## 2年ぶりに調理実習

新型コロナウイルス感染症の影響で、長い間実施できませんでしたが、学校としてはおよそ2年ぶりの調理実習です。手袋とマスク着用とたくさんのコロナ対策を講じて行われました。それでも生徒にとって調理は楽しい活動のようで、いきいきと活動していました。



## 先生方も勉強会をしています（公開研究会）

市内外の先生方に来校していただき、本校の数学の授業公開をしました。たくさんの先生方に囲まれ、緊張している様子が見られましたが、いつもどおりの良い雰囲気での授業が進められていました。公開した授業について、意見交換や研究協議を行いました。



**新型コロナウイルス感染症対策に「特別」はありません。「基本」をしっかり行うことが大事です**

- ★風邪症状がある場合は登校しないでください。（同居の家族に症状がある場合も同様です）
  - ・ 軽くても何らかの症状がある場合は自宅で休養してください。（欠席扱いにはしません）
- ★3密の回避、人と人との距離確保、マスク着用、手指衛生等、基本的な感染対策を徹底しましょう。
- ★今後、気温が下がりますが、適切な換気対策を行きましょう。